学校番号	２１０

令和５年度　地理歴史・公民科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史Ｂ　（実教出版）						
副教材等	図説　日本史通覧　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史を学ぶ意義は何か。それはかつての人間の足跡から、未来に生きる者としての価値観や哲学を身につけることにある。社会や文化、思想から地形までの、ありとあらゆる人間の営為の変遷を記した歴史には現代の我々に生きる指針をもたらしてくれる。そこには、過去の出来事などから、なぜそれが起きたか、その理由や関係性を考え、その教訓を現代に活かすことができる。

歴史を学ぶには、授業だけでなく、自主的に学ぶ必要がある。意欲的に自習をし、そこから沸いてくる疑問を自ら調べたり教員に聞いたりして、解決していくことでさらに学びは深まっていく。

２　学習の到達目標

・日本史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察する。
・日本の文化と伝統の特色についての認識を深める。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事実や現象に関心をもち、世界との関わりやその影響を意識しつつ意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析した上で、総合的に考察できる。また、それを表現することができる。	日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、関連付けて世界との関わりやその影響を総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・提出物での評価 ・受講状況観察	・定期考査 ・提出物での評価 ・受講状況観察	・定期考査 ・提出物での評価	・定期考査 ・提出物での評価 ・定期的な小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	9章　近代への転換	1　開国 2　明治維新 3　四民平等と富国強兵 4　初期の外交と国内政治 5　文明開化	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a: 幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、課題意識を高め、意欲的に追究している。 世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、課題を見いだし、世界史的背景と関連付けて多面的多角的に考察している。 c: 幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程に関する文献、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d: 幕藩体制の崩壊から中央集権的国家体制の成立にいたる過程について、基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・提出物での評価 ・定期な小テスト ・受講状況観察
	10.章　近代国家の形成	1　民権運動の展開 2　立憲政治への道 3　初期議会と日清戦争 4　政党の進出と日露戦争 5　産業革命と社会の変化 6　近代文化の形成と展開	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ 		

2	11.章　両大戦間の日本と市民文化	1　第一次世界大戦 2　大戦後の内外環境 3　政党政治の展開 4　市民文化の展開	 ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成、太平洋戦争や第二次世界大戦などについて国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などに対する関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成や太平洋戦争や第二次世界大戦などについて国際社会と国内の政治・経済の動向などを関連付けながら課題を見いだし、多面的多角的に考察している。 c: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成、また太平洋戦争や第二次世界大戦などについて国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d: 第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成、また太平洋戦争や第二次大戦などについて、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・提出物での評価 ・定期な小テスト ・受講状況観察
	12.章　十五年戦争と日本	1　満州事変 2　日中戦争 3　アジア・太平洋戦争	○ ○ ○	○ ○	○ 	 ○ ○		

3	13章　現代の日本と新しい文化	1　占領と民主改革 2　サンフランシスコ講和会議と保安体制 3　高度経済成長下の日本 4　経済大国日本と国民生活 5　世界史の転換と日本	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移について、相互の動きを関連付けて多面的多角的に考察している。 c: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d: 戦後日本の歩みと世界情勢の推移についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・提出物での評価 ・定期な小テスト ・受講状況観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。